

大阪府立成城高等学校 定時制の課程学校協議会（平成 27 年度第 1 回）記録

（日時）平成 27 年 6 月 29 日（月） 16:30～

（場所）大阪府立成城高等学校 会議室

（出席者）

〔学校協議会委員〕桶谷千晶、越智良夫、川崎友嗣、小松功、田中紹亮、畑井みどり

〔学校関係者〕富田准校長、雑賀教頭、長谷川首席、木戸教務部長、野村生活指導部長、北田

（協議会記録）

1 准校長挨拶

2 学校協議会の役割と運営について

学校協議会要項を准校長から説明する

3 学校協議会会長の選出

川崎 友嗣 氏を委員の互選により会長に選出する

4 協議(1)平成 27 年度学校経営計画等について

（富田）平成 27 年度の学校経営計画及び学校評価について。めざす学校像。1 つは社会生活を営む上で必要な基礎的・基本的な学習の定着を図る。次に、豊かな心をはぐくみ、規範意識を身に付けた生徒を育てる。そして、教職員が一丸となって学校力を高めあい、生徒に生き抜く力を身に付けさせる。中期目標と進捗状況について。学力診断テストを 4 月に実施し、報告会を行った。今後の学習指導の改善に役立てる。

授業アンケートについては 7 月に実施予定。前年度は肯定的意見が 78%で、今年度は 80%が目標。

教員研修について、研究授業を 7 月 1 日から実施。12 月に大学教授を招いて研究授業実施予定。

あいさつ運動は、4 月当初は、生徒会の生徒たちと行った。毎日、あいさつで校門に少なくとも 4~5 名の教員で実施している。徐々に元気よく挨拶が返ってくるようになっていく。

規範意識の醸成のための生徒の講演を 5 月に喫煙防止講習会、6 月に交通安全講習会を実施した。7 月に薬物乱用防止講習会を実施する。

キャリア教育の推進が本校の課題である。計画的な進路指導の推進と昼間に働く生徒の率を高めたい。

人権教育については 5 月 21 日に、コリア NGO センター事務局長の金光敏さんを招いて講演を行った。

生徒の反応もよく、自らのことを安心して話すようになった等、前向きな感想がほとんどであった。

生徒支援について、5 月 24 日にケース会議を実施。少人数を活かして全教員が全生徒のことを把握できるようにしていく。定期的に実施する。

校舎が改築のため、夏からプレハブへ校舎移設する。生徒の動線の安全対策が課題。

（委員）アンケートの肯定的な評価が高いのは、教員の努力の賜物であると思う。本校の先生は、たいへんよく生徒にかかわっていると思う。

（委員）食事は大切であるが生徒の現状を考えると、この給食喫食率の目標設定は難しいのではないかと。

（委員）昨年、我々も食べてみた。量が高校生にとって少ないと思う。

（委員）5時半に登校しないといけないということも生徒への負担になっていると考える。

（富田）給食喫食率を上げることを目標設定にしているが、食生活の改善のための食育指導は必要なことであると考えている。これからも指導を続けていく。

5 協議(2)学校概要について

(木戸) 定時制で総合学科・単位制である。卒業まできちんと指導するという伝統は変わらずにやっており、基礎をきちんと指導することが本校の特徴。過去はやんちゃな生徒がいたが、不登校であった生徒や支援の必要な生徒が多くなってきている。特に、今年の1年次生は静かに授業を受けている。退学者はいない。しかし、6月になって出席率が低下しつつある。

(野村) 指導という名前はついているが、スタンスは学校生活支援としてやっている。懲戒指導は3名でたが、その他の目立った指導はない。近隣巡回の時間帯を変えて実施しており苦情は減った。

(委員) 定時制を第一希望で受験する生徒がほとんどいない時代である。頑張っ指導いただいていることは分かった。生徒が入学して変わっていく様子や、就労率が知りたい。

(富田) 不登校であった生徒が、定時制ならではの、ゆったりとした学校生活のリズムや環境に安心感を与えられている。細やかな指導や支援により不登校が改善し、卒業し就職した生徒は少なからずいる。保護者や中学校の先生方に学校の実施の様子を見ていただくことが一番と思っている。

(長谷川) 就労率は6割程度、しかし、仕事一辺倒になって来られなくなるケースもある。今年の1年生はおとなしい生徒が多く、就労率は下がるのではないかとと思っている。夏以降に支援をしたい。

(委員) 他校では学校に適應すること自体難しい生徒も多くいる。ここの就労率は比較的高いと思う。

(委員) 以前中学校にいたときも、定時制を受ける生徒がいなかった。勧めても、保護者が昔の定時制のイメージを強くもって避ける傾向がある。成功事例や成功体験のロールモデルなど、定時制の学校側からの発信を強めて、イメージを払拭できればよいのではないか。

6 協議(3)教科書採択について

(富田) 採択教科書を説明。

(委員) 教科書については、この一覧のとおりで承認。「産業社会と人間」の教科書はどうしているか。

(長谷川) これまでの蓄積があるが、毎年、先生が工夫して自主教材を作成している。

7 授業見学(1限目)

- ・3年A組 「倫理」(伊藤)
- ・1年B組 「現代社会」(川内)
- ・体育館 「バドミントン入門」(寺井・安田)
- ・ソフトウェア実習室 「マルチメディア」(田中康・中川)

8 協議(2)授業を見学して

(委員) 静かに授業を受けていた。

(委員) 1年次生の出席が少なかった。6月になり、疲れが出てきているのではないか。

(委員) 先生が生徒によく関わっている様子が短時間でもわかった。

9 保護者からの意見書

(富田) 提出されていません。

10 その他

(川崎会長) 第2回は学校と相談し、11月頃に開催予定します。

11 准校長あいさつ

- ・閉会

大阪府立成城高等学校 定時制の課程学校協議会（平成 27 年第 2 回）記録

（日時）平成 27 年 11 月 12 日（木） 17:00～19:00

（場所）大阪府立成城高等学校 多目的室

（出席者）

〔学校協議会委員〕 桶谷千晶、越智良夫、小松功、田中紹亮、畑井みどり

〔学校関係者〕 富田校長、雑賀教頭、長谷川首席

（協議会記録）

1 会長あいさつ

会長欠席の為、准校長からあいさつ

2 協議(1)

①平成 27 年度学校経営計画の進捗状況について

（富田）進捗状況の資料の説明、学校生活の様子をパワーポイントで説明

130 名でスタートしたが現在 9 月 30 日現在 126 名。出席している生徒は楽しく学校生活を送っている。

懲戒指導は 3 名で全員喫煙

給食利用生徒は残念ながら 2 名です。給食担当から生徒向け、保護者向けのプリントを作成して指導をしている。今後は、食育指導と併せて続ける。

生徒就労率は、高い数値であるが、アルバイトが多い。

（委員）説明を聞いていると、全般的に挨拶ができたり朗らかであるが、授業中は携帯をしたりして授業を受けている、携帯は禁止しているのですか？

（長谷川）禁止していますが、指導にのらない生徒はいる。きちんと我慢している生徒もいる。

（委員）先生からの指導や注意を嫌がる場合もある。保護者や働いているところにも協力してもらおうとよい。

（委員）思った以上に就労率は高いが、1 年生の女子が低いのはなぜか？

（長谷川）メンタル的に弱い生徒は働けていない。時間をかけて指導を続けていく。

（委員）1 年生の出席率は非常に高いが理由はあるのか？

（富田）学校が安全で安心できる居場所になっていると思う。あいさつ運動等で声掛けをして関係をつくる指導を継続している結果である。

（委員）あいさつ運動はとてもよい。この学校の伝統となるよう今後も全教員で続けて欲しい。

②第 1 回授業アンケートについて

（富田）校長として指導する評価の教員はいませんでした。今後は、個々の教員が結果を踏まえて課題を分析し、さらにわかる授業を研究します。電子黒板や iPad を利用しての授業を展開していきたい。

（委員）この結果は教育委員会に提出するのか？

（富田）授業アンケートの結果は出さないが、この結果を含めた全体の評価育成の資料は提出する。この結果は学校と個人でフィードバックする。授業力が一番大事であるが、今後の課題は定時制の教員が新採若手教員ばかりになっていくだろう。若いというメリットもあるが、生徒指導や保護者対応など教員として力量やスキルの伝承が大切になる。

③生徒表彰について

（富田）定通高等学校生徒秋季発表大会の「生活体験発表の部で大阪府議会議長賞」をいただきました。生徒は 11 月東京で行われる全国大会に出場します。その他、芸能発表の部で同じく「大阪府議会議長賞」、書道の部で「奨励賞」を頂きました。また、定通課程の体育大会の柔道の部で近畿大会への出場。

（委員）素晴らしいことだ、この成果が全員の生徒たちの自信となるようにして欲しい。

3 学校見学（文化祭）

模擬店や展示見学及び模擬店試食、その後、感想と協議

（委員）・いきいきとして活気があった。・展示は完成度が高かった。・初めて見るが、子どもたちに安堵の表情がありとても良い。・教員の指導や努力の跡がひしひしと伝わる。

（富田）定時制でPTA活動は難しい面もあるが、PTAにも協力して出店していただいています。

4 保護者からの意見書

（富田）提出はありませんでした。

5 次回の開催時期について

（富田）川崎会長と相談をして2月頃にしたい。

大阪府立成城高等学校 定時制の課程学校協議会（平成 27 年度第 3 回）記録

（日時）平成 28 年 2 月 15 日（月） 17:00～19:00

（場所）大阪府立成城高等学校 多目的室

（出席者）

〔学校協議会委員〕川崎友嗣、桶谷千晶、越智良夫、小松功、田中紹亮、畑井みどり

〔学校関係者〕富田准校長、雑賀教頭、長谷川首席、野村教諭、吉田主査

（協議会記録）

- 1 会長あいさつ
- 2 校長あいさつ
- 3 これまでの学校の様子 行事等をDVDやパワーポイントで説明（准校長）
- 4 協議(1)

① 平成 27 年度学校教育自己診断について

（雑賀）生徒用・保護者用・教員用集計の説明

全ての項目で肯定率が高い。生徒にとり本校が居場所になっていると考える。生徒と教員との関係性も良く、保護者も同様の回答。登校までの時間の過ごし方で「特に何もしていない」が 27%。将来の進路希望が未定も高い。今後の指導が課題と考えている。

（委員）登校するまで「特に何もしていない」のは、「仕事をしたいが働くところがない」ということか？

（富田）おとなしく自信もないことから、アルバイトをできない生徒が増えてきている。一人ひとりの継続的な指導が大切であると考えている。

（委員）不登校傾向の生徒は、学校案内などの資料を見て私学の通信制高校への希望を持つ。定時制のことを中学の先生も保護者もよく知らない。保護者の回答は学校への感謝の回答がほとんどであるので、成城高校定時制の良さや成功事例を中学校や保護者へアピールしていくことが必要である。

（委員）保護者の立場として、成城の先生はとても温かくて優しい。内面のケアもしてくれるので、進学させて良かったと感謝している。

② 第 2 回授業アンケートについて

（雑賀）前回と比較するグラフを資料とした。教員平均と教科平均は 2 回目の方が高い。先生が結果を踏まえ色々と工夫した結果であろう。特に、数学では電子黒板を利用するなど ICT 機器を活用しており、生徒の興味・関心や理解力を高めることに繋がり、数値が向上している。

（委員からの意見は特になし）

③ 平成 27 年度学校経営計画の評価について

（富田）学校協議会からの意見欄には委員の皆様から頂きましたご意見の代表的なもの記入しました。評価案について説明。

（委員）地域清掃の取組みはよい。地元の人にPRをすれば学校の注目度も上がるし、生徒の励みになる。時間が遅いので連携は難しいだろうが、知らせるだけでもよい。

（委員）新入生登校率が高くなっている。指導の成果と思うが、入学生が変わってきたのか？

（富田）不登校経験でおとなしい生徒が増えたと思う。担任を中心に、生徒が学校になじめるようにきめこまかく指導をしていることも結果にでていると考える。

④ 平成 28 年度学校経営計画について

(富田) 平成 28 年度学校経営計画 (案) の説明

(委員) 企業では 5 S 運動が行われている。この点での教育をして欲しいと企業側の要望がある。難しいだろうが、検討して欲しい。

(委員) 自己肯定感の低い生徒が多いが、承認行為とは具体的にどのようなことをするのか。

(富田) 学習活動で承認された経験が少ないと考えており、取り組みやすい学校独自の検定などを実施して生徒を表彰し、学校での学習を評価していきたい。

5 保護者からの意見書

(会長) 学校からこれまでに意見はないと報告を受けています。

6 まとめ

(会長) 委員の皆様、進行にご協力をいただき、また様々なご意見を頂きありがとうございました。

(校長) 皆様からのご意見を参考にし、学校経営計画を策定いたします。本日はありがとうございました。

【参考】

成城高等学校定時制の課程 平成 27 年度 学校協議会委員
名簿

会長	川崎 友嗣	関西大学社会学部副学部長、教授
	桶谷 千晶	スクールカウンセラー
	越智 良夫	落語家 (笑福亭仁昇) 本校特別非常勤講師
	小松 功	A S E A N 総合技術・支援センター協同組合専務理事、本校 P T A 顧問
	田中 紹亮	大阪市立東陽中学校校長
	畑井みどり	本校 P T A 役員